

MESSAGE FROM

志茂田さん



不安なのはみんな同じ。 言わないだけ。

独身の人が結婚したいという気持ちの裏には、結婚自体への願望より、「自分自身を安定させたい」という思いがあるんだと思います。10年先に明るい展望をもてない人が多い現代で、ふと押し寄せてくるブラックホールのような孤独感から抜け出したいってね。みんなそれを隠して生きてる。結婚すれば楽になれると思うかもしれないけど、自分や他人と向き合えなければ不安はずっと消えない。まずは足元の状況をしっかり把握して。何が問題点か明瞭になったらその中で解決できそうな問題から取り組む。そのくり返しで足元が固まって、世の中の先は見えなくても自分のちょっと先くらいは見えてくるから。じっくり自分の道を歩いていけばいい。不安も孤独もうまく使えば、道を切り拓く力になります。

TICKET FOR HAPPY LIFE

MESSAGE FROM

志茂田さん



結婚も子どもも、 自分のタイミングが必ずある。

友達の結婚が刺激になって、自分の生き方を見つめ直すのはいいことですが、蒔いた種の芽が出るタイミングが違うように、それぞれにいい時期があるので、焦らなくていい。明日運命の相手が現れるかもしれないから、急ぐなことではないですよ。焦って腐れ縁の彼なんかと結婚するとうまくいかないことも多いですから。「結婚ていいよ」「子どもは早いほうがいい」と価値観が違う人に言われると、違和感をおぼえるのは当然。でも傷ついたなんて思わなくていい。傷なんてどこにもついていないのだから。

TICKET FOR HAPPY LIFE

自信をつくる。
働く喜びへ贈るカゲキの檄文
ベストセラーズ ¥1,050



自信がない、将来が不安、恋人と長続きしない、仕事つまらない…人生の悩みに効く心の処方箋。不安を希望に変えてくれる30のメッセージは、アネサーにとって心強い味方に。

お話をうかがったのは

Twitterでのお悩み相談が大人気! 志茂田景樹さん

作家。40歳のとき、「黄色い牙」で直木賞を受賞。その後もミステリー、歴史、エッセイなど多彩な作品を発表している。現在は児童作品の執筆、各地で絵本の読み聞かせや講演活動も行う。2010年4月からは自身のTwitterアカウント(@kagekineko)を開設。人生の苦楽を噛みしめる言葉の数々が共感を呼び、多くの人に愛読されている。



MESSAGE FROM

志茂田さん



大人になるほど、「捨てられる人」になる。

何でも欲しくなっちゃう人、それって実は不安の表れです。本当に欲ばりなんじゃなくて、不安を解消するために手に入れようとする。手の届くものは全部抱えてないと不安なんだよね。でもね、人はもつほどに足元が見えなくて身動きがとれなくなる。いい状態を維持しようと思ったら手放すことも必要。自分の中で価値の低いものは捨てていく。捨てるつらさに耐えて自分の判断で視界が開けたとき、本当の自信を手に入れられますよ。

TICKET FOR HAPPY LIFE

MESSAGE FROM

志茂田さん



幸せのツールとして、子どもを見ない。

たとえ無意識でも、子どもを「いい結婚をしたこと」「幸せであること」を示すツールにしようとする、思いどおりにいかなかったときに不幸を感じてしまいます。最近ネガティブな情報も氾濫して、結婚前から「育児は大変」という刷り込みが強い。本来楽しいものだってことがすっぽ抜けています。まずは面白くて楽しいものだ意識する。それから、子どもの人生をどうするかじゃなくて、ママこそ自分の人生を考えて。親が心穏やかにやりたいことをやっていけば、それを見て学んでくれます。

TICKET FOR HAPPY LIFE